

JUSTICE における Open Access に係る活動状況報告

1. 海外の状況に関する情報収集

- ・ ドイツ Project DEAL と Elsevier との交渉状況
- ・ スウェーデン Bibsam と Elsevier との交渉状況 ほか

2. OA2020 対応ロードマップの作成

海外の事例を参考に JUSTICE の OA2020 対応のロードマップを作成する。

スケジュール案

2018 年 10 月頃骨子の作成

2018 年 11 月 WS 開催

2018 年 12 月素案作成

2019 年 1 月運営委員会での審議

2019 年 3 月総会での審議

2019 年 4 月以降ロードマップの公開

3. 論文公表実態調査

(1) APC 支払推定額の集計

- ・ 2012～2016 年出版分について、Hybrid OA を含む OA 論文の特定を行い、APC 支払推定額を集計する。
- ・ 大学毎の集計については、各大学にフィードバックできるようにする。
- ・ 出版社毎の集計は、OA2020 対応検討チーム及び交渉作業部会で共有し、オフセット契約の検討等に活用する。

(2) APC 価格調査

- ・ 調査対象の Web of Science データに出現した雑誌は、約 9,000 誌である。
- ・ 2017 年度末に未調査の雑誌（約 3,000 誌）について、外注で調査を行った。
- ・ 引き続き、2018 年価格の調査も実施するが、同様の調査を行っている機関との協

力についても検討する。

4. 活動成果の報告

- ・ 『大学図書館研究』誌からの執筆依頼に対する原稿提出
「ジャーナル購読からオープンアクセス出版への転換に向けて：欧米の大学
および大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）における取り組み」
執筆：小陳元事務局長，矢野元協力員
掲載予定：第109号（2018年8月頃発行予定） ※J-STAGEでのOA発行

■ 2018年度 OA2020 対応検討チーム メンバー

主査 市古 みどり（慶應義塾大学）
奥村 小百合（筑波大学）
細川 聖二（東京大学）
山中 節子（京都大学）
笹渕 洋子（早稲田大学）
立原 ゆり（東京大学）
石山 夕記（一橋大学）
梶谷 春佳（京都大学）
尾城 孝一（国立情報学研究所）
菅原 光（国立情報学研究所）
顧問 安達 淳（国立情報学研究所）
事務局 平田 義郎，蔵城 一樹，山形 知実（JUSTICE事務局）